



ニュースレター No.114

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

<https://lora-saga.jp/>

<https://lora-saga.jp/ialt/>

〒840-8502 佐賀市本庄町1 佐賀大学理工学部内 TEL/FAX: 0952-28-8712 令和7(2025)年12月12日

低平地研究会における 今後の 調査・研究テーマに関するアンケート結果

低平地研究会では、今後の調査・研究活動をより地域の実情と会員ニーズに沿ったものとするため、会員を対象にアンケート調査を実施しました。本アンケートは、研究会の方向性を多角的に見直すとともに、幅広い分野における関心を把握し、さらに会員の皆様が主体的に参加できる取り組みを計画することを目的としています。2025年6月20日から7月31日にかけて回答を募り、14名からご意見をいただきました。

質問項目は、今後必要と考える調査・研究テーマ、各自が提供可能な活動内容、そして研究会への要望から構成されており、基盤整備、都市空間、環境、地域創生、歴史・文化、低平地防災の各専門部会に関連した多様な意見が寄せられました。

寄せられたご意見のキーワードとしては、クリーク管理・水環境保全、軟弱地盤の特性、インフラの長寿命化、有明海の歴史、水辺空間の活用、防災シナリオの高度化、グリーンインフラ、空き家・空き地問題などが挙げられます。また、調査への参加意

欲を示す声や、動画アーカイブ・広報の充実に関する要望、研究会の体制や専門部会の役割に関する提案も寄せられ、研究会の活動をより開かれたものにし、地域や専門職との協働を深めるための示唆が多く含まれていました。

いただいたご意見に対しては、各専門部会より回答が準備されています。既に取り組まれているもの、今後の活動に反映されるものなど、研究会として継続的に検討していく内容も多く含まれています。アンケート回答および部会からの回答の詳細については、個人情報に関わる部分を編集したうえで、低平地研究会ウェブサイト内の会員専用「低平地研究会」図書室から閲覧できるよう準備を進めています。また、2026年発行予定の冊子「低平地研究No.35」にも情報を掲載する予定です。

アンケートにご協力いただいた皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。いただいたご意見は今後の研究テーマ設定や活動企画に活かしてまいります。低平地研究のさらなる発展と地域社会への貢献を目指し、今後とも会員の皆様の温かいご支援と積極的なご参加をお願い申し上げます。

アンケートで寄せられた意見の概要

質問項目	回答内容
(1) 会員種別	個人会員10名、特別会員4名から回答
(2) 低平地研究会で今後、調査・研究が必要なテーマ	クリークに関わるトピック（水門操作、清掃などの維持管理の改善、利水状況）、有明海の歴史、地域の文化（祭り、民俗）、防災・減災、地域の地盤特性や分布、空き家・空き地、観光、インフラの長寿命化、水資源管理、都市空間（水辺空間、街路空間などの活用と管理）、グリーンインフラ、気候変動
(3) 会員が既に実施している・今後実施できる取組み	クリーク研究への参加、伝統的な治水技術の評価、在来知歴史学的な研究
(4) その他・低平地研究会への要望	会員に対する十分な活動成果の説明、活動のアーカイブ、部会の目的・研究テーマなど再編の議論、会員の増加と部会構成員の増加

都市空間専門部会

猪八重教授が「ハカタの王様」から取材

RKB 每日放送の情報番組「ハカタの王様」から、都市空間専門部会の猪八重拓郎教授が 11 月



19 日にインタビュー取材を受けました。取材テーマは「高校生の通学路」で、佐賀平野に広がる低平地特有の地形や市街地構造などの都市空間研究の視点から解説されました。

番組は 2026 年 1 月 14 日 (水) 20 時～21 時に RKB 每日放送にて放送予定です。放送を楽しみにお待ちいただけますと幸いです。



RKB 取材中の猪八重教授

基盤整備専門部会 講演会の開催案内

基盤整備専門部会では、低平地に関連する地盤工学の最新トピックを共有することを目的として、講演会「低平地に関連する地盤工学の最近の話題」を開催します。講師に株式会社ワイビーエムサービスの眞崎照吉氏、木材利用研究会（佐賀）の福岡仁氏、そして佐賀大学の根上武仁講師をお迎えし、有明海沿岸道路盛土の沈下試算、木材利用の実践事例、佐賀市南部における液状化危険度予測など、低平地の基盤整備に関するテーマについて講演されます。

参加費：無料（一般参加可）

[※詳細は低平地研究会ウェブサイト内にて](#)

開催日時：2025 年 12 月 19 日（金）13～16 時（予定）

会 場：佐賀大学本庄キャンパス

理工学部 6 号館 2F 多目的セミナー室

講演 1 有明海沿岸道路盛土の一次元圧密による沈下試算について／眞崎照吉氏

講演 2 木材利用研究会（佐賀）の「これまで」と「これから」／福岡仁氏

講演 3 佐賀市南部の液状化危険度予測に関する考察／根上武仁講師

主催：基盤整備専門部会・共催：佐賀大学理工学部都市工学部門、地盤工学会九州支部佐賀地区・後援：木材利用研究会

会員
動向

特別会員

株式会社ワイビーエムサービス

弊社は 1995 年に設立し、株式会社ワイビーエム製品の販売・レンタル・施工技術の開発を行っています。地域に根差した技術として地盤改良工事における機械の開発、有明海の底質改良工事、クリーンエネルギーである地熱発電井の掘削、省エネルギーに役立つ地中熱利用空調設備設置工事など地球環境にやさしい技術の開発に取り組んでいます。地域の問題解決や発展に役立つ最先端の技術とサービスを誠意と感謝の心をもってご提供しています。



環境・都市空間専門部会 講演会の案内

環境専門部会と都市空間専門部会では、公開研究会「佐賀の水辺のこれから」を開催します。佐賀の水路を中心とした水辺空間の可能性について、最新の研究成果を交えながら議論する場として企画したものです。

日時：2026 年 1 月 14 日（水）14:00～17:00

場所：佐賀大学理工学部 4 号館 1 階デザインギャラリー（Zoom 併用）

話題：「水と寄り添うまちの再編 - 佐賀市における持続可能なブルーグリーンネットワークの提案」

講師：稻井佳那子氏（オランダ・デルフト工科大学 修士課程修了）

講演後は、水辺空間の今後の活用に向けた意見交換を行います。どなたでもご参加可能です。詳細は追ってご連絡いたします。

【再掲】2025 年度特別講演会の動画配信

5 月 28 日に開催された特別講演「佐賀城下発展史の現在」を会員限定コンテンツ『低平地研究会』図書室から視聴できます。ID とパスワードがご不明な場合は事務局まで E メールでご連絡ください。

✉:lora@lora-saga.jp

編集後記：家族全員が A 型インフルエンザに感染してしまいました。一度の飲み薬で治療が済むことに感心しつつ、子どもたちの回復の早さにも驚かされました。皆様もご自愛ください。編集：三島悠一郎、武富（lora@lora-saga.jp）表紙写真：中尾亮太氏（佐賀大学）